

栗橋城社跡

概要

栗橋城は古河城の支城として、古河公方の重臣・野田氏の居城だった。野田氏はもともと古河城の城主だったが、1455年（享徳4年）に第5代鎌倉公方・足利成氏が鎌倉を放棄し、下総古河を本拠地としたため、自身は栗橋城に移って成氏を支えた。その後、永禄年間（1558年-1570年）、野田景範が城主のときに北条氏により城は接收され、北条氏照の北関東攻略の拠点として利用された。徳川家康の関東入封後は小笠原秀政が古河城修復の間、一時居城としたが、古河城の修復が終わると栗橋城は廃城となった。現在城址は東側のみ土塁や水堀などが確認できる。五霞町指定史跡。

場所

茨城県猿島郡五霞町元栗橋128

アクセス

- 電車の場合
東武日光線・南栗橋から徒歩25分
東武日光線・幸手駅から朝日バスに乗り「冬木」下車、徒歩15分
- 車の場合
圏央道・五霞ICから10分
東北自動車道・久喜ICから30分



取り組み

町指定史跡 城跡見学
 古河公方ゆかりの古城の跡

問合せ

五霞町教育委員会事務局 生涯学習グループ
 0280-84-1460

自然拠点

文化拠点

景観 生物 地物・現象 公園 史跡 行事 産業・伝統 食 交流・学習